



園だより

9 月 号
2021年9月1日発行
ひまわり第1保育園
TEL 22-5172 FAX22-3911
dai1@h-himawari.net

保育園前の稲も大きく育ち穂が一粒一粒ふっくらとし、収穫の時を待っているようですね。田の上では、とんぼが飛び交う姿に秋の訪れを感じさせられます。この頃は天気の悪い日が続き、なかなか外であそべない日も多いですが、少しの晴れ間を見つけては外にでて水あそびや築山登りを楽しむ小さいクラスの子どもたちです。また、大きいクラスの子どもたちは、とんぼを捕まえようと帽子を網代わりにして追いかけたり、年長組は針金ハンガーと洗濯ネット、竹を使い自分の虫捕り網を作り、とんぼ捕りを楽しんでいます。

お知らせ

- ①30日(木)は弁当の日です。
- ②10月22日(金)は運動会を予定していますが、開催内容と方法については検討中です。後日お便りにてお知らせします。
- ③21日(火)のお月見会はばら組といちよう組がお団子作りをします。エプロン、三角巾、マスクを持ってくるください。



～縄編み～

年長組は7月の終わりに縄編みをしました。6色の布(モスリン)から友だちと一緒に色、二色三本を選びます。三本の布を三つ編みして仕上げます。自分の力で編み上げた縄跳びは大切にこれからのあそびやリズムなど様々な場面で使っていきます。

～たくさんあそんで器用になる～

ヒトの運動発達のはからだの中心から末端へ育っていきます。つまりからだの中心(体幹)がしっかりしていないと、肩のコントロールもうまくできないし、腕の力も育たない、手首のコントロールもできない、指先がしっかり動かないのです。子どもたちを「自分の思いどおりの作業ができる手」にするためには、手先の訓練が必要なのではなく、まずはリズムあそびや体をしっかり使ったあそびで体の軸をつくっていくことが大事になります。

ヒトの手の最大の特徴は、その高い適応性です。私たちの手はさまざまな形・大きさ・やわらかさのものを扱うことができます。豆腐や卵をそっと持ち上げることもできれば、ハンマーやのこぎりを力強く動かすこともできます。ポケットの中身をさぐったり、画用紙の厚みや、表裏のキメの細かさを感じとる感覚器でもあります。

ヒトは指の動きをコントロールしたり、指先からの感覚情報を解析するために、脳の広い部位を使っています。子どもたちは手の操作やあそびを通して脳を発達させていきます。赤ちゃんの時期から手を動かす技術は何度も繰り返されるあそびの中で学習されていきます。「興味のあるものを見て、手を伸ばし、触れて、握り、持ってあそび、たたき、なめまわす」手の動きのバリエーションを増やし、動きの技術を磨いていきます。

手は子どもの意欲や自立心によって発達していきます。多くの子どもたちは道具を使いたがり、自分でスプーンを使いたがったり、自分で着替えたがります。最初のうちは正しい使い方ではないかもしれませんが子どもたちは自分で考え、たくさんの失敗を経験しながら道具の使い方や指の使い方を発見していきます。

今から40年以上前の年長児の子は、ハサミ・針・糸が使い、包丁・ナイフが使い、ひもが結べ・ほどけ、マッチで火がつけられ・消すことができる「手」を持っていた。しっかりとした体幹に支えられ、あそびやお手伝いの中で自然に身につけた技術です。今の子どもたちはゲーム機や携帯で視覚のみを中心としたあそびが主流です。ヒトが生きていく上で身につけたい手の動きを得るには、小さい時からのあそびや道具を使う生活を大人が意識していく必要があります。子どもが使うもの(お弁当やエプロン、その他)はデザインにこだわらずになるべく昔からある形のものをお選びください。結ぶ・ほどく・手首を回して開けるという手の動きをする機会が便利さを追求するがゆえに少なくなります。

秋の歌紹介



秋の空

小さい子から大きい子まで歌うことが大好きです。一年を通して季節やお話の歌をたくさん歌っています。小さい子は歌に合わせて身体を揺らしたり、保育者の歌う姿を見て模倣する姿があり、とても可愛らしいです。大きい子になるととにかく元気なよい歌声。ぽぶら組になると一体感が生まれて共感して歌い上げる姿がありますよ。



日	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30
曜日	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木
行事	安全点検の日																避難訓練	懇談会(もも組)		敬老の日	お月見会		秋分の日	役員会			誕生会			合同リズム(ぽぶら組)